

# 夜間学校

西成区萩之第屋ス-5-23  
解放会館ス階 釜日労働組合付  
釜ヶ崎夜間学校

みんなでつくろう  
みんなの会館  
三人よれば何とかの知恵

今夜7時から  
西成市民館3階  
毎週金曜日

## 釜の労働者運動

— その過去・現在・未来 —

過去の仲間の斗いに学び、現在の

困難な状況を突破し、未来への  
展望を切り開くために！

「仕事の半減で路上犯罪急増」

襲われる野宿の弱者

仲間がにわか強盗も

二のような見出しの大きな

記事が、5月24日の朝日新

聞夕刊の一面トップに出た。

読んだ仲間も多いと思う。

なぜ、今、二のような記事

が、こんなに大きく出るの

か、少しおかしき気がする

が、それは一応、横におい

ておこう。内容は、釜で「

しのぎ」がふえている、と

いう記事だ。そして、そ

には、専門のしのぎ屋だけ

でなく、あぶれた仲間が

しのぎをやっている例もあ

るようだと言っている。本

当だろうか。極端に仕事

が減って、たしかに今はし

んどい時期だ。しかし、ど

んなにしんどいとは言え、

仲間が仲間をおそうなんて、

信じられない。しかし、万

が一、そういう仲間が一人

でもいるとすれば、それは

ものすごく、悲しく、くや

しい事だと思う。今年の春

は、春斗から日健廃止反対

斗争、メーカーと、仲間の

団結した力によって、釜の

運動が大きくなりあがった。

一方には、アブレ地獄とい

う苦しい状況があるが、そ

れにもかかわらず、仲間の

斗いは大きくもりあがった。

二のような状況のなかで、

もしも、新聞の記事のよう

な「事実」が、本当にある

のだとすれば、その原因は

一体どこにあるのか。生活

の場での仲間どうしの助け

合い、思いやりがなければ、

斗争での団結も決して、真

の団結、強固な団結にはな

りえない。神戸では、仲間

が手配師に殴り殺されると

いう事件が起っている。我

々の怒りは、手配師や、ボ

リ公や役人、資本家どもに

向けられるべきで、決して、

いかなる理由があれ、仲間

に向けられてはならない。

生活の場から、我々の斗い

の基盤を打ち固めて行く

必要がある。釜の先パイ労

働者の不屈の斗いに学びつ

つ、その斗いと団結の伝統

を更に押しすすめて行くに

は、今、何をなすべきなのか。



# 闘争とそれへの参加

## その関係を考える

見なし適用が継続されても、健保改悪によって医療費の一副負担という負担増があるのでは  
 お手上げた、入院費用で最低3万8千円もかかるというのでは入院は救急車ということに  
 なってしまう、という声が上がると同時に、単価の値上げが自立できるようになってきました。今  
 年のさまざまな闘争をふりかえりながら、闘争とそれへの参加について考えてみました。

「業者はホニマに  
 ワシらをナメとる  
 な。この前、セン  
 ターで「飯場契約  
 一五日・条件従来  
 通り」というプラ  
 カードみたで  
 「完全に足元みと  
 るな」  
 「仕事がないとい  
 うのが一番の問題  
 やない」  
 「今年に入って春  
 闘での賃上げ闘争  
 や東京までも大争  
 して押しかけた日  
 健康止反対闘争で  
 はどろどろの成果  
 は上がったのに」  
 「そもそも仕事  
 がないとなくなっ

るというのは、どうしようもな  
 いな」  
 「仕事よこせでは、なかなか人  
 が集まらない。それで闘争も大き  
 ないへんし、業者の言ひなりに  
 なってしまふ」  
 「春闘や日健康止反対に集った  
 力をどうするかや」  
 「単価とか医療の問題は通年  
 に誰かにとっても問題やけど仕  
 事場の問題は一時期的なもので  
 らみんながマンしてるぬん」  
 「アブし手当もあるし、印紙の  
 まわし合いもある」  
 「顔付けになったらええという  
 こともあって、闘争に力が入ら  
 へん」  
 「国結は力やというのには日健の  
 問題でもようわかるんやけど、  
 仕事については個人個人という  
 ことになる」

「賃金がとらん時、組合はすべ  
 とってくゆる、言っ人は多い」  
 「それでもみんなさういっしよに  
 となるとひつらんごしまう」  
 「釜の人は皆な取かしがりや」  
 「釜でがんばらさくらなら、こ  
 こにくるまでにかんばってる、  
 言う人もおまほ」  
 「業者にとって釜共、組合がこ  
 わいというのは、つるし上げでも  
 大衆の仲間を動かすからや」  
 「組合に對する世間の見方も変  
 化した。メーカーのデモも変  
 った。総評にも詳細さした」  
 「国結がないのではなく、物的  
 ではないことが問題や」  
 「国結を維持できる場が必要」  
 「組合の人の意識とワシらの意  
 識もだいぶちがう。そのヤヤフ  
 ぶとどう埋めていくのかも大争  
 な問題やと思う」